ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.

福島県では、ふくしまに想いを寄せる方々の協力を得ながら、ふるさと復興の決意を新たに、ふくしまから“共に”新たな何かをはじめる活動として「ふくしまから はじめよう。プロジェクト」を展開しています。

森林環境税で森林を守り育てています。

福島県 森林計画課

福島県の森林は、県土の約７割を占め、豊かな自然環境と良好な生活環境を生み出しています。県民共有の財産であるこの豊かな森林を守り育て、次世代に引き継ぐため、森林環境税を導入し、「県民一人一人が参画する新たな森林(もり)づくり」に取り組んでいます。

平成30年には、第69回全国植樹祭が南相馬市で開催されます。この機会に森林や林業について学び、体験し、森林(もり)づくりを始めてみませんか。

ホームページで詳しい情報を公開しています。 福島県森林環境税 検索

ふくしまの美しい森林を未来の世代へ引き継ぐために

私たちは豊かな森林の中で、おいしい水や澄んだ空気、さまざまな山の恵みに支えられてきました。本県では、このような県民と森林との関係を「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」として制定し、県内の森林が未来も豊かであるよう守り育て、次世代に引き継ぐための取り組みを進めています。

（間伐前の森林）
森林内が暗く、下草が生えない急な山では、雨による土砂の流出が進み、水源の働きの低下や災害の発生が心配されます。

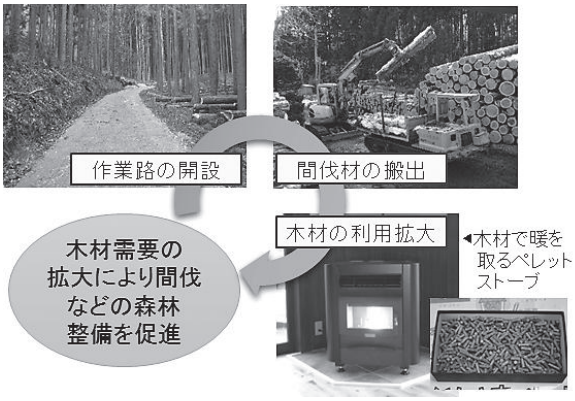
（間伐後の森林）
森林内が明るくなり、下草やかん木が繁り、水源や災害防止の働きが発揮されます。

森林環境税を活用した取り組み

(1) 森林(もり)づくり

水を浄化し、渇水や土砂崩れを防ぐなどの森林の働きが十分に発揮されるよう、間伐などの森林整備を進めるとともに、企業やボランティア、地域が行う森林(もり)づくりを推進し、里山の整備や野生動物との共生環境の整備などに取り組んでいます。

また、森林において生産された木材を有効に活用する仕組みを整え、長期間にわたり炭素を固定する住宅等への木材利用の促進によって、低炭素・循環型社会づくりに貢献します。



森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(2) 人づくり・心づくり

森林文化や森林(もり)づくりを知り、触れ合うことができる取り組みや、森林の中で行う子どもたちの学習を進めています。また、平成30年に開催する全国植樹祭を契機として、県民参画の森林(もり)づくり活動をさらに進めます。

森林環境学習の実施

森林(もり)づくり活動の支援

第69回全国植樹祭と森林(もり)づくり県民運動について

平成30年春季に南相馬市で開催する第69回全国植樹祭は、「育てよう　希望の森を　いのちの森を」を大会テーマに、県内外からの招待者約６千人を招き、緑豊かなふるさとの再生と、復興に向けて力強く歩み続ける本県の姿を全国に発信します。

詳しい情報はHPをご覧ください。

全国植樹祭ふくしま2018　検索

豊かな森林を未来の子どもたちへ

東日本大震災と原子力発電所事故の影響により希薄となった、森林と人、世代間、地域間のきずなを回復するため、森林環境税を活用して、森林を知り、森林と触れ合う取り組みを進めていきます。

豊かな森林を未来の子どもたちへ引き継いでいく森林(もり)づくりをはじめましょう。

●森林環境税のお知らせ

※県民税に加算して納めていただいています。

［個人］　年額1,000円

［法人］　年額法人県民税均等割額の10％相当額